



可能性がある。

### 3・2 表層水質

2009年6月10日の測点9においてこの年度の最低の透明度である1.0mを観測した。同日には測点8, 98, 99などでも透明度1.5m以下を観測した。さらにこの前日, 前々日においてもDO飽和度最大184%(6月9日;測点12), クロロフィルa濃度最大170 μg/L(6月8日;測点2)などの赤潮の徴候を観測しており, 3日間にわたり内湾部でかなり広範囲に赤潮が発生していたものと思われる。このときのプランクトン最優占種は*Prorocentrum triestinum*(一部の地点で*Heterosigma akashiwo*と拮抗)であった。

### 3・3 プランクトン発生状況

観測した8回の赤潮では, 赤潮を形成したのは珪藻類単独3回, 渦鞭毛藻類4回, 珪藻と微細鞭毛藻の混合赤潮1回であった。赤潮発生時の優占プランクトンを表2に示した。

2009年度の特記事項としては, 7月27日に千葉中央港に大量のミズクラゲが漂着したことが挙げられる。中央港の船だまりに, 水面が見えないほどの密度でミズクラゲが集まった。同時に*Noctiluca scintillans*の集中もみられた。前日(26日)から当日の昼にかけ4.8~9.7mの南西~南の風が卓越しており<sup>3)</sup>, 風に乗って中央港の船だまりの中に吹き寄せられたものと思われたが, 過去にあまり例のない集中であった。

なお, この7月27日のミズクラゲ漂着時には*Noctiluca scintillans*による海面の変色はみられた



図2 2009年7月27日に千葉中央港でみられたミズクラゲの大群

が, 中央港内の局所的な発生であることからこの現象は月別の赤潮発生回数には含めていない。

### 謝辞

ミズクラゲの漂着に際して状況を逐一報告するとともに写真を提供して下さった千葉県水質保全課忍足慎吾氏に深く感謝します。

### 文献

- 1) 千葉県水質保全研究所年報(1983~2000), 千葉県環境研究センター年報(2001~2008)
- 2) 飯村晃・小林広茂・小倉久子: 赤潮等プランクトン調査, 千葉県環境研究センター年報第8号(2008)
- 3) 気象庁気象統計情報 <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/>

表2 赤潮発生時の優占プランクトン

年月日	海域	赤潮プランクトン
2009/4/7	Stn.99	<i>Leptocylindrus danicus</i>
2009/4/14	Stn.2,3	<i>Leptocylindrus danicus</i>
2009/5/1	Stn.1	<i>Eucampia Zodiacus</i>
2009/6/8	Stn.6	<i>Prorocentrum triestinum</i>
2009/6/9	Stn.12	<i>Prorocentrum triestinum</i>
2009/6/10	Stn.7,8,9,98,99	<i>Prorocentrum triestinum</i>
2009/6/26	ほぼ内湾全域	<i>Prorocentrum micans</i>
2009/7/7	Stn.4,5,6	Micro-Flagellates, <i>Pseudo-nitzschia cf. mutistriata</i>